

# 理容ボランティアの日



## 『カット&献血』に組合員150名以上が参加

全理連では、昨年度から9月の第2月曜日を「理容ボランティアの日」(厚生労働省後援)と制定し、組合員が全国一斉にボランティア活動を実施することをはじめました。

この取り組みは、老人保健施設などを中心に出張(福祉)理容を行うことを基本として、様々なボランティア活動を全国で一斉に行い、理容師のボランティア精神の輪を広げることを目的としています。

千葉県組合でも14日、約80名の理容師が、病院、高齢者施設・身体障害者施設や各家庭へ出向きカットボランティアをしました。

1歳から18歳まで、約75人が生活している夷隅市の児童養護施設には、以前からカットボランティアに行っている地元の理容師3名と今回、青年部員2名が出向き、20名余の子供たちの髪をカットしました。「坊主がいい!」「ソフトモヒカンにして!」「芸能人になったみたい!」「かわいい!」と、大喜びで笑いが耐えない会場に、ボランティアをしている理容師の方がパワーをもらった感じでした。



カットボランティア



献血に参加

また、旭市飯岡保健センターでの採血車と県内6ヶ所の献血ルームで約80名が献血をしました。モノレール千葉駅献血ルームでは午前10時に青年部員を中心に10数名が集まり、献血はベテランだと言う人から今回が初めての人まで様々でしたが、採血前の検査の数値が悪い人や寝不足で献血が出来ない人もいて、日頃の健康管理が重要だということ改めて感じているようでした。

県内の理容師の中には何十年も前からボランティアをしている方が大勢います。この「理容ボランティアの日」を通して敬意を表したいと思います。